

平成24年度 第4回事業委員会

日時 平成24年8月11日(土) 13:30~17:00

場所 (社)北海道建築士会 事務局会議室

1 H24 一級建築士受験者講習会

- ・H25以降の受験者講習会について意見交換
- 8名参加(会員4名(賛助会員)・非会員4名)
- 模試作成費について
- ・模試制作費は外部講師のみとし、委員は講師代及び交通費とする。
- 模試と本試験の関連性がありよかつた(来年のセールスポイント)
- 科目別で受講できるようにしてはどうか

2 H25 建築技術講習会について

(1) スケジュール

運営委員会(3/3), 理事会(5/25), 事務局長会議(6/2) 支部アンケート(6月), 支部事業化について理事会承認(8/25), H25講習テーマの決定(8月), H25開催支部の決定およびH25事業計画案をまとめる(9月) → 支部の事業計画の集約 テキスト作成(10~12月) → 特定行政庁, 北総建, 確認審査機関などとの連携

(2) 寒地講習の在り方や支部事業化について

受講料, 参集規模, 採算性, 開催地, 講習内容, 会員ニーズ, CPDの提供, 支部協力費

(3) H25寒地講習のテーマ設定, テキストの題材, テキストの執筆, 講師選定の準備

※できるだけ実務に直結した内容としたい

→北総建, 適判センター, 林産試験場, みらい法律事務所, 旭川市建築指導課, 事業委員会委員(長期優良住宅, 工事現場でのお役立ち情報)

- ・講習会を支部運営にする事を踏まえテキストは年内完成をめざす。

(支部の総会時に講習会を行う場合、1月開催がある)

- ・全道大会時の理事会にて支部運営する旨の周知

・テキストの内容

北総研と林産試から各5題程度

太陽光発電パネルの屋根上への施工上の注意点 補助金制度について

長期優良住宅

賠償責任その他みらい法律事務所からの引用

(挿絵等をみんなで探す)

確認申請・適合判定のポイント

過去テキストからの抜粋

70ページ程度とする

テキスト代金は例年の参加者を踏まえ収支を考えると¥2,500

3 その他(意見交換)

- ・事業委員会の役割と今後の方向性 → 本部の支援により支部事業がやりやすくなるような・・・
※支部の自立を支援: 支部が自力で事業(講習会など)を立ち上げるには, どんな助けが必要?
- ・本会主催の講習会
 - CPD会員割引を導入
 - 会員割引の格差拡大
 - 消費者割引の導入→受講者の本人確認の厳格化
- ・親会も青年同様4ブロックに分けた活動を行う
- ・講習会での会員並びにCPD・専攻建築士の割引を行う際本人確認を厳格化しなければならないが企業で講習会に参加をしている場合本人厳格化により参加者の減少の可能性はある